

# さくら地区だより

平成29年7月 〈No.23〉  
桜地域まちづくり協議会  
宇都宮市桜3丁目2-22  
桜地域コミュニティセンター  
Tel/Fax. 636-2007

## 特集：桜地域ビジョン



桜地域の西の端を貫流しているのが三の沢川です。作新学院の敷地内から流れてくるので、その先はわかりません。一年中涸れることの無い清流で、魚や川虫、ザリガニが生息し、それを捕食しにカルガモ、アオサギ、まれにカワセミなどの鳥がやってきます。以前は大雨による鹿沼街道

の浸水がありました。下流の整備が行われ解消しました。鶴田川をきれいにする会で、昨年より除草清掃が行われるようになり、除草後の川で子供たちが遊んでいるのを見かけます。鶴田川をきれいにする会はもとより、地域全体で今後も末永く保全して行きましょう。

桜百景

三の沢川



# ふれあう桜 かがやく桜 すみよい桜

## 桜地域ビジョンがまとまりました

### ビジョン策定にあたって

ふれあう桜 かがやく桜 すみよい桜 こんな地域にしたいと意見が一致しました。根底にあるのは「思いやり」です。平成二十七年七月、まちづくり協議会は、近未来の桜地域のあるべき姿を求めるため、ビジョン策定委員会を発足させました。委員会では忌憚のない意見交換を行い、平成二十九年三月答申することが出来ました。

「なぜここは桜地域なの」転入者のほとんどが持つ疑問です。昭和三十七年に伐採され

た、「軍道の桜」（終戦後は桜通り）を覚えていた人も六十歳代になりました。昭和二十四年に開校した小学校は桜と命名されましたし、昭和四十一年の住居表示実施に伴い、桜

1丁目から5丁目が誕生したのも、これが由来です。住民の多くが、桜に「若き日の郷愁」を感じ、特別な想いを抱いており、「桜並木ここにありき」の碑は、高齢者の思いの縁です。

桜小は、それまで西原小・戸祭小に通っていた児童一

六九名で開校し、ピーク時の昭和三二年は、一七九五名のマンモス校となりました。翌三三年富士見小開校により児童数は減少、以来年々減少し現在三六二名です。往時夏休みは、ラジオ体操・球技練習・子供会対抗球技大会で賑わい、家族総出の応援合戦は楽しい見物でした。毎年開催された体育祭の趣向を凝らした応援風景は、秋の風物詩として住民に親しまれ、地域共同体である自治会活動の一大

催事として、地域の皆さんが楽しいひと時を共有しました。児童数の減少と、地域高齢化は連動し、諸催事の開催に影響が大きく、これからも中心的な課題として考慮していかなければなりません。

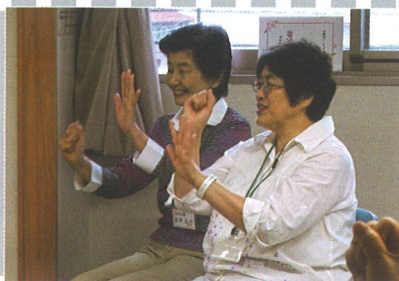
ご近所つきあいから始めましょう。何かあった時、一番頼りになるのはご近所さんです。世間話のなかから情報の共有化が図られ、万が一の時、適切に対応できます。道端の立ち話は空き巣防止にもなります。ご近所つきあいというささやかな地域共同体の集ま

りが自治会となり、二六自治会が桜地区自治会連合会を形成しています。

あなたがまちづくりの主人公に「より住みよいまちを創るために」と、アンケートには多くの課題が例示されました。地域で出来るもの・出来ないものさまざまです。なんでも行政にの時代は終わりました。自分たちの力でまちを良くする。自治会が中心となつて、決して無理をせず、楽しみながら日常生活の延長での地域活動（ボランティア）を皆ですすめていきましょう。

ビジョンも進化します。このたびは自治会員を対象のアンケートを軸に作成しましたので、自治会未加入の方々のご意見は反映されていません。時がたてば環境も変化します。後日ご意見をお伺いして、ビジョンを地域住民全体のものにします。

「言うは易く 行うは難し」これからが本番、みんなで元気に楽しく。



←第1回 わくわく桜講座 毎日できる運動を教わる

平成29年度  
地域あれこれ



### 桜地域の変遷と展望

#### 一 桜地域の変遷

桜地域は、宇都宮市のほぼ中心部にあります。明治三十年代には、大谷までの人車鉄道が敷設され、地域の交通や各地方への大谷石の出荷に使われていたそうです。明治政府の富国強兵政策の一環として、明治四十年に軍隊（第十四師団）を誘致しました。宇都宮は一大軍都となり、繁栄しました。桜地域にも輻重隊・騎兵隊（現・作新学院）、野砲隊（現・文星芸術大学附属高等学校）、師団長官舎（現・合同庁舎）、偕行社陸軍将校クラブ（現・桜美公園）、兵器支廠（現・中央公園）などが置かれ、軍都の中枢を成す地域でした。師団司令部（現・栃木医療センター）から野砲連隊（現・宇都宮短期大学附属高等学校）までの間を結ぶ幅員二十メートルほどの通称十間道路が、軍用道路として造られました。約二・五キロメートルの道路

の両側に約一〇〇〇本（諸説あり）の桜が植えられ、見事な桜並木となりました。昭和三七年に桜は伐採されましたが、この桜並木が今の桜地域や桜通りの由来となっています。

戦後、占領軍が進駐し、軍の施設はアメリカ兵が駐留しました。その後、兵舎跡地は学校や住宅地に変わりました。市内でも、有数の文教地域といわれるのはそのためです。

地域内はおもに住宅地で、静かな環境です。少子高齢化の波は桜地域にも及んでおり、桜小学校の児童数は少なくなり、高齢者の一人暮らし世帯も増えています。平成二八年度の世帯数は、約四七〇〇世帯。六年前と比べると七十世帯多くなっています。マンションやアパートも数多く建設され続けていますが、自治会に加入しない世帯も多く、平成二八年度自治会加入世帯は二七四三世帯で、地域とし

ての一体感が薄くなってきています。

ただ、交通のアクセスもよく大きなスーパー等もあり、中央公園等緑も多く、生活するにはよい地域となっています。

#### 二 桜地域の展望

桜地域には、大通り、栃木街道、鹿沼街道等主要な幹線道路があり、東武宇都宮駅にも近く交通の便がよいため、マンションが多くあり、他地域から桜地域への転入者は増えていくものと思われます。

ここで生まれ育った住民との融和が、課題となっていくものと考えられます。

のと考えられます。

大谷街道、桜通りと道路の拡幅工事が進められ、地域の街並みは変わりつつありますが、住民の意識は変わらず思いやりのある近所付き合いを継続してもらえることを望みます。地域内にいくつもある学校との交流を通して、地域が活性化し文教地域としてより発展していくでしょう。

桜地域のまちづくりについては、これまで培ってきた経験を活かして組織を強化し、創意工夫しながら、誇りの持てる住みよい地域としてさまざまな活動がなされることを期待します。

### 住民アンケートから

#### 一 桜地域の魅力

##### (1)生活する面で

- ・ 交通の便がよい（大通り・栃木街道・鹿沼街道等主要幹線道路が通っている）。
- ・ バスも頻繁にある。
- ・ 静かな住宅地が広がっている。
- ・ 治安が良い。

##### (2)環境面で

- ・ 風水害など災害が少ない。
- ・ 小規模医療機関が多い。
- ・ 銀行や郵便局が結構ある。
- ・ スーパーが多く便利である。
- ・ ご近所のつきあい、人間関係がよい。
- ・ 時間がゆっくり流れている。
- ・ 中央公園などの公園が多く、



←三の沢川のアオサギ



←第1回 身体すまいる講座 楽しく太極拳





桜美公園

二 桜地域の問題点

(1) 地域の人々について

- ・ 高齢化が進んでいる。(平成二八年二月末日時点六五

(4) 地域の課題や不安に思っ

- ・ 親睦活動

(7) 地域に住んでいることに関

- ・ 地域に活気がない。
- ・ 高校が多いので、登下校時に安心して道路を通行できない。

緑が豊かである。

- ・ ゴミステーションなどのマナーがよい。
- ・ 起伏の少ない地形なので、歩きやすい。
- ・ 鶴田川や新川、三の沢川が流れていて落ち着く。
- ・ 市内でも有数の文教地区である。
- ・ 夏祭りや御輿があり、伝統が守られている。

(3) 桜地域の公共施設・大事にしていきたい文化財

- ・ 栃木県中央公園
- ・ 栃木県立博物館
- ・ 西市民活動センター
- ・ 桜地域コミュニティセンター
- ・ 宇都宮地方合同庁舎

- ・ 財務省関東財務局宇都宮財務事務所
- ・ 桜通り交番
- ・ 栃木県障害者職業センター
- ・ 日本聖公会宇都宮聖ヨハネ教会
- ・ 観専寺
- ・ 安養寺
- ・ 丹堂(あかんどう)
- ・ 陽西保育園
- ・ うめばやし保育園
- ・ 愛隣幼稚園
- ・ 作新学院幼稚園
- ・ めぐみ幼稚園
- ・ 宇都宮市立桜小学校
- ・ 作新学院小学部
- ・ 宇都宮短期大学附属中学校
- ・ 文星芸術大学附属中学校
- ・ 作新学院中部
- ・ 宇都宮短期大学附属高等学校
- ・ 文星芸術大学附属高等学校
- ・ 作新学院高等学校
- ・ 宇都宮アート&スポーツ専門学校

歳以上二六・八%(市平均二四・〇%)

- ・ 一人暮らしが一六一六世帯と多い(平成二二年国勢調査)。
- ・ 独居のお年寄りが増えている。

(2) 桜地域全体、それぞれの自治会のこと

- ・ 近所付き合いは希薄になっており、あいさつや立ち話等の関係性しかない人が多数を占めている。
- ・ 地域の行事等にも、高齢や忙しいなどを理由に積極的に参加している人は少ない。
- ・ 活動している内容が周知されていない、回覧板がうまく回らないなど自治会活動の活発さが顕著なところがある。

(3) 地域の事業やイベントへの要望

- ・ 高齢者向けのイベントや集まれるところ
- ・ 伝統芸能の継続と継承
- ・ 地域全体で集まれるイベント

- ・ 防犯防災など安全に関すること
- ・ 高齢者の増加と健康
- ・ 高校生の自転車通学に関することなど交通安全に関すること
- ・ 犬猫等の飼い主のマナー

(5) 困っていることは

- ・ 商店が少なくなり、買い物が不便になった。
- ・ 近所付き合いが減った。
- ・ 道路がせまい。高校生の自転車のマナーが悪い。
- ・ 空き家が増えてきた。
- ・ ゴミ出しのルールが守られていない(特に集合住宅)。

(6) 地域の各種団体や事業について

- ・ 知っている人の割合が少ない。
- ・ 各団体の情報発信がうまくいっていない。PR不足。
- ・ 参加する人の固定化。



← 第1回 さくらクリーンデー(不法投棄パトロール) 六月四日 参加者五三名



← 桜小学校のしだれ桜



・転勤で住んでいるだけなの  
で……。  
新しく住民になった人達との  
融和

(8)地域で取り組むべきことは

- ・環境美化
- ・アパートやマンション住民の自治会加入促進
- ・空き家対策
- ・狭隘道路解消、道路の整備
- ・歴史を大事に後世に伝えていくこと

・地域での見守り活動

(9)地域活動に望むことは

- ・防犯の整備
- ・支え合い助け合える人間関係の構築
- ・安全・安心のまちづくり
- ・豊かな自然を守り、大切にしていこう
- ・子育てしやすい環境の整備

### 地域ビジョンを進める八つの柱

#### 一 シンボルは桜

桜地域を理解し誇りのもてる地域となるよう「桜ブランド」の確立を目指します。

(1)地域の桜を活かしたまちづくりをしよう

学校の桜・公園の桜・トライアルの桜など桜地域には、桜がたくさんあります。その桜を活かした地域づくりに取り組みます。  
〔具体策〕

○桜マップの作製

・地域内にある桜の地図を作り、住民に配布（全戸）し、地域内を知る機会を増やす。ウォーキング大会等の行事にも活用していく。

○地域カルタの作製

・地域の名所名物等をよんだカルタを作製し、地域を大人も子どもも楽しみながら知る。

(2)シンボルを活かしたまちづくりをしよう

地域の統一カラーを桜色に選定し、一体感を醸成していけるようにします。

### コラム

地域の変遷にも書いたが、昔桜地区にはとてもきれいな軍道の桜並木があり、お花見の時期はサーカス小屋もかかるほどたいそう賑わったそうだ。  
桜地区の「桜」や桜通りの「桜」は、軍道の桜並木

から由来している。残念ながらアメリカシロヒトリによる虫害と道路拡張に伴い、伐採されてしまった。  
今回実施した住民アンケートにも書かれていたが、桜並木の復活を望む地域住民はとても多い。

〔具体策〕  
○一戸一役運動

○子どもを対象とした行事等の支援

○知識・技能を次世代に伝えるよう

○御輿を活かした祭りの開催

○桜地域文化祭の開催

○学校との合同催事  
(2)それぞれの地区で各自自治会で行われている祭りなどの催事を大切に後世に伝えていきます。

(3)地域にある公共施設をもっと活用していこう

地域ならではの活用方法を考えていきます。

〔具体策〕

○お知らせや回覧チラシを積

#### 二 地域の財産を活かそう

まず、住民が財産。そして地域の歴史を共有し大事にしていくことを目指します。

(1)桜地域全体として考えます  
地域住民のパワーを活かしたまちづくりを推進していきます。

←老人クラブ連合会主催  
グラウンドゴルフ大会  
五月二十日 四五名参加



←体育協会主催  
グラウンドゴルフ大会  
六月三日 三二名参加







丹 (あかん) 堂

(1)ご近所つきあいをもう一度はじめましょう。  
遠くの親族より近くの他人。

**三心がかよいあう地域に**  
人と人の結びつきが深められるような地域を目指します。

- 極的に周知
- 協働による事業の実施
- 歴史を大事に伝えていきます
- 「さくら地区だより」に地域の歴史の記事を掲載
- 歴史講座の開催

- 悩みごと・困りごと相談
- 認知症サポーターを増やそう
- 老人クラブの加入促進（生きがいの持てる実践活動）
- (2)子どもの健全育成
- 地域の子ども達を、健やかに育てる環境を整えていきます。
- 〈具体策〉
- ドッジビー大会・チャレンジランニング大会の開催

**四安心と安全**  
誰もが安心して住める地域を目指します。

- (1)高齢者のこと
- 高齢者や一人暮らしの方の見守り活動
- 笑顔であいさつ運動を展開します。
- 敬老会
- ふれあい会食会
- 困ったときはお互いさまで。心と心がふれあえるような人間関係を築いていきましょう。
- 〈具体策〉

**コラム**

地域に誰でも出入り自由なサロンが欲しい。一人でも立ち寄り、何時間でも居られるような。また、地域独自で管理できるような集会所も必要だ。飲んだり、食べたり、歌ったり、話したり気楽に集まれる場。若者も高齢者も一緒に楽しい時間が持てるような場。面倒くさい手続きもいらぬ。図書コーナーもあるといい。子ども達が好きなだけ好きな本を読めるように。高齢化が進み、空き家の増加は、この地域の大きな課題となっている。

そこをサロンや集会所等に、有効活用できるような支援の充実を行政にしてもraithたい。

空き家が自由に使えるならば、そこで駄菓子屋をやって地域の居場所にしたという人がいる。学校から帰ったあとの子ども達の居場所にもなり、大人が子どもにもんじゃ焼きの作り方を教え、コマの回し方のコツを話す。子どもは、家族以外の大人との付き合い方を覚えていく。世代間交流が普通に行える場の実現が待ち遠しい。

- スキー教室の開催
- 環境点検
- 公園をきれいにする
- 異世代交流
- 子育て情報交換
- 悩みごと相談
- (3)交通安全について
- 歩行者や学生の自転車、車を運転する人のマナーを向上し、事故のない地域を目指します。
- 〈具体策〉
- 毎月8の日の運動
- ストップマーク等補修活動
- 交通指導
- 交通安全教室
- 一斉パトロール
- わんわんパトロール
- (4)防犯について
- 地域住民が安心して暮らせる



←体育協会主催  
奥日光ハイキング  
六月十一日 六八名参加



←八の日の運動(桜2丁目  
交差点・三の沢交差点)



まちづくりを目指します。

〈具体策〉

- 空き巣・詐欺にあわないよ  
うな啓発活動
- 防犯灯の整備
- 防犯カメラの設置検討
- 空き家対策

(5)防災について  
みんなで火災を予防し、地震などの災害があっても被害を小さくできる地域を目指します。

〈具体策〉

- 防災訓練
- 火災予防啓発活動
- ・消火器の点検、家の周りに燃えやすいものを置かない等
- 自治会ごとの防災マップ作成



桜地区中心部

製

○地域を支える消防団員を増やしていく

五人がつながれる場づくり

みんなが顔見知りになれるような地域を目指します。

(1)地域みんなが参加しやすいような新しい催事を開催していきます。

人と人がつながれるような催事を考えます。

〈具体策〉

- わくわく桜講座
- 手芸教室等
- 地域の次の担い手の発掘
- 若い人が多く参加できるようなイベント
- 社会福祉協議会がすすめている高齢者のサロンづくり

六 環境美化

ごみのないきれいなまちづくりを目指します。

(1)自分の家のまわりをきれいにしましょう。

さらなる環境美化に取り組み

ましよう。

〈具体策〉

- ごみステーション環境美化
- さくらクリーンデー(不法投棄パトロール)
- 鶴田川・三の沢川清掃活動
- 河川パトロール
- 資源物集団回収の回覧チラシ

(2)落ち着いた街並みをつくることを目指します。

緑豊かな自然を大切に、調和のとれたまちづくりをすすめていきます。

〈具体策〉

- 花いっぱい運動
- リサイクルの推進

七 健康増進

地域住民の健康寿命をのばすことを目指します。

(1)いつまでも健やかにいられるように  
みんなで楽しみながら身体を動かす機会を増やすことを目指します。

〈具体策〉

- ハイキング

○ウォーキング大会

○グラウンドゴルフ大会

○輪投げ大会

○身体すまいる講座

(2)地域独自の体操をつくり、

みんなで行いましょう。

地域のことを歌にして、それに合わせた体操をつくり地域の一体感を醸成を目指します。

〈具体策〉

○さくら体操

八 PRR方法の改善

催事・行事の周知がきちんとでき、参加者が増大するよう目指します。

(1)行事や催し物の参加者を増やしていくために。

周知方法を工夫し、地域住民の知る機会を増やしていくことを目指します。

〈具体策〉

- 広報誌「さくら地区だより」の発行
- 掲示板の設置
- 回覧チラシの作り方
- 自治会加入促進
- マスコミの活用
- ホームページ開設等

考える力・やり抜く気力・思いやりの心を育てる



めぐみ幼稚園

桜5-5-17 028-636-3852

http://www2.ucatv.ne.jp/~megumi/



浄土真宗  
本願寺派

安養寺

材木町5-15 028-633-2669

ボーイスカウト・ガールスカウト 団員募集中





# さくら うつのみや 歴史散歩 大貫 裕

本田正純が行った町割りという都市計画で、今の道路が通っています。戊辰戦争と第2次世界大戦で街並みはほとんど残っていません。かろうじて、材木町・大寛町に古い姿がまだあります。

日光街道が南新町から城下に入り、熱木町、歌橋町、蓬来大黒通りから材木町通りとなります。街道筋の両側は町家が隙間なく連なって、後ろに武家屋敷がありました。城下町の体裁は出入口に寺をまとめ（砦、防塁の役）、イザという時、中に兵營を置くのです。町家は壁で楯。あくまでも戦闘用の配置でした。その名残で材木商、肥料商が軒

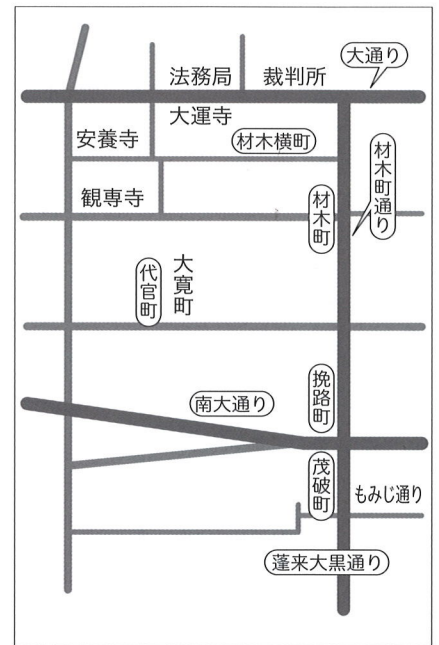
を並べ、材木町や寺の周りには職人が多く住んでいました。

代官町は江戸時代の初めに代官屋敷が置かれたことから名付けられ、80名の代官が住んでいました。明治の初めに大寛町となりました。

第2次大戦後10年程は、大寛町にもワラ屋根の屋敷が何軒もありました。近所の野菜市場に、牛や馬で荷物を運んでいるのを見かけたものです。テレビの有る家に行ってみせてもらった思い出があります。同級生達の家が徐々に消えていき、いつの間にか周りにいなくなっています。祭りの賑わいも、子ども達が走りまわる歓声も聞こえなくなりまし

た。

最近できた南大通りで、町内が分断されましたが、昔からの付き合いは変わりません。歴史は、生活が育むものだと思います。



## 伝言板



### ●桜地域コミュニティセンターからのお知らせ

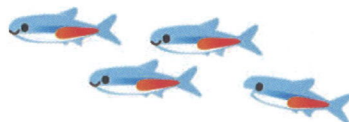
桜地域コミュニティセンターには、駐車場がありません（障がい者用のみ1台分はあります）。ご利用の際は、公共交通機関、徒歩、自転車等でお越しくださいようお願いいたします。

また、近隣のお店、企業等の駐車場を無断で使用することは、絶対にお止めください。

### ●鶴田川をきれいにする会からお知らせ

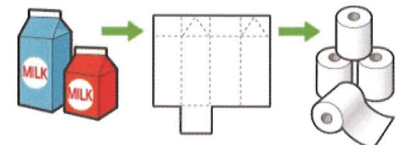
鶴田川をきれいにする会では、一緒に清掃活動をしてくださる会員を募集しています。時代を支えてきた鶴田川を大切に、環境を保全し後世に伝えてくためには、共感くださる方の協力が必要です。ぜひ、お力をお貸しください。入会をお待ちしています。女性の方も大歓迎です。

入会の申し込みは、鈴木 (☎648-4558) まで。



### ●資源物の回収について

毎月第1、第3日曜日は地域の資源物の回収日です。収益金は、それぞれの自治会で老人会や子供会活動の補助に使われています。ご協力をお願いします。



### ●募集します

・桜百景の写真・俳句や短歌などの文芸作品・我が家の自慢料理・桜地区の素敵なところ・地域で活動されている方の紹介などなど「さくら地区だより」に記事をお寄せください。

